

中央大学国際センター主催 2025 年度 秋学期 TOEIC 講座 TOEIC 入門コース（月 6・リアルタイムオンライン開講・TOEIC を知るコース） シラバス

※ 注意して作成しておりますが、ご不明の点・誤植と思われる部分などございましたら、国際センター または 当講座シラバス係 熊谷 (kjiyunko001c★g.chuo-u.ac.jp ※左記★を@に変えてください) までご連絡なくお尋ねください。

● コースの説明

コースの概要・学習量・目的 (春・秋リピート開講です)	TOEIC の概要を知り、本番で慌てないようにするための基礎講座です。TOEIC 頻出の語彙をチェックし、また受験のコツと練習問題、模試 1 回分が収録された TOEIC の指南書 1 冊を使って学習します。単語学習・問題演習を通して、今の力で解ける問題を探し、その問題に確実に正解するための解法や、今後の学習の仕方などを学びます。具体的にこのコースでは、600 点を達成するために必要な TOEIC 頻出の単語と、TOEIC の大問 Part 1 から 7 のうち、Part 1, 2, 3 と Part 5, 6 と 7 の解きやすい部分 (シングルパッセージと呼ばれる部分で、TOEIC 本番の問題番号にして 147-175 番) をカバーします。TOEIC を受験したことがないが気になる、受験したことがあるが、対策をしたことがない、近いうちに初めての受験を予定していて、準備無しで受験するのが心配といったみなさんに向けたコースです。授業の雰囲気は、オンラインではありますが、勉強会のような感じをイメージして頂ければと思います。どうぞお気軽にご参加ください。 ※ 当講座では、オンラインの IP ではなく、紙の TOEIC テストを念頭において学習します。紙の TOEIC 対策ができていれば、オンラインの TOEIC にも対応可能であるのがその理由です。
コースの目標	① TOEIC テスト全体に関する入門的な知識を得る ② 講座終了後も継続的に学習を続け、目標を達成するための学習法を知る
コースの目標スコア (目安)	500 点
テキスト (2 冊、約 3,000 円)	① (単語帳) TEX 加藤『TOEIC L & R TEST 出る単特急 金のフレーズ』(朝日新聞出版、979 円) https://publications.asahi.com/ecs/detail/?item_id=18732 ② (指南書&模試) TEX 加藤『TOEIC L&R TEST はじめから超特急 金のパッケージ』(朝日新聞出版、1,980 円) https://publications.asahi.com/ecs/detail/?item_id=24621 ※ 同著者の同出版社からの別の類似のタイトルの著作、『金のセンテンス』、『金の文法』、『金の 1000 問』等と間違えないようにお買い求めください。『金フレ』と『金パケ』と覚えてみてください。 ※ お手数をおかけしますが、初回授業日までに必ずテキストをご用意ください。中央大学生協書籍売場の TOEIC コーナーに例年開講が近くなるとテキストの取り扱いをしていただいております、割引価格で購入できます。取り寄せも可能だと思われます。また、一般書店・ネット書店でも購入できますが、市中の書店の場合は常に大量に在庫している書籍ではありませんので、お早めのご準備をお願いします。 ※ 当講座のテキストに電子書籍版がある場合、どちらを購入するかは受講者のみなさんにお任せしますが、講座としては紙の書籍の購入をお勧めします。また、講師は紙のテキストを参照して授業を進めますので、ご了承ください。
1 回の授業の流れ	オンラインで集合し、次項に示したスケジュールに沿って manaba 上の単語テストを解き、続いて指南書によって学習を進めます。単語テストの準備以外予習は原則として不要です。講師と一緒に勉強会のような授業だと思えていただくとイメージしやすいかと思います。1 回の授業で大体大問 (TOEIC では Part と呼びます) 1 つに関する学習を終えることを目指しますが、当日扱うパート・問題の難易度、受講生のみなさんの理解度等により、担当講師の判断で扱いきれなかった問題は次回の授業に回す、宿題にするなどの変更を加える場合があります。
予習・復習	□ 予習…原則として不要です (開講後状況に応じて調整する可能性があります)。復習に力を入れましょう。 ■ 復習…講義内容の確認、音読、問題の解き直しなどをお勧めします。
注意事項	① 遠隔開催となります。次の 2 点についてご了承ください。1) 講義は会議ツールの Zoom Workplace または Webex を使用した同時双方向型授業となります。大変申し訳ありませんが、録画・見逃し配信・教室での対面開講の予定はありません。2) カメラやマイクの on/off は学生のみなさんのご希望、プライバシーを尊重しつつ各講師が判断します。担当講師の指示に従ってご参加ください。 ② テキストのコピー、PDF の配布等の準備はありません。お手数ですが、テキストをお早めにご準備ください。 ③ 遅くとも授業開始前日 23:59 までに、manaba のコースニュースより、会議ツールのミーティング URL と、初日の集合の方法を担当講師より皆さんにご案内します。manaba へのアクセスをお願いいたします。また、通知の受信をおすすめいたします。 ④ 上記の目標スコアはあくまで目安です。500 点取得を前提として授業を進めますが、大切なことは参加者のみなさんの意欲です。

● 講座のスケジュール…こちらに示した指南書の進度は大まかなデザインです。授業の状況に応じて適宜講師が変更を加える場合がありますので、講師の指示に従ってください。

※ 下表「金フレの範囲」について…単語帳『金のフレーズ』（略して『金フレ』）は要予習です。下表の「金フレの範囲」に従って、単語テストの準備をしておいてください。

- ① 授業開始時に『金のフレーズ』を使用して、単語テストを行います。問題は、manaba の「小テスト」コーナーにあります。1 回 10～15 問で原則として選択式です。
- ② 続いて、テスト範囲の説明をします。単語帳『金のフレーズ』には、本編として TOEIC 頻出語 1000 語（1-1000 番）、その補足として付録が 5 部（Supplement 1-5）収録されています。この TOEIC 入門コースでは、収録された単語のうち、1-600 番までと、Supplement 1 と 3 をテストします。下表「金フレの範囲」にある数字は、単語番号と Supplement の番号に言及したものです。例えば「1-200」とあるものは、1 番から 200 番が、「Supplement 3」とあるものは Supplement 3 がテスト範囲であることを示します。単語帳の目次を併せてご覧いただくと収録ページや構成がおわかりいただけると思います。単語番号は、単語帳を見開きにした時の左ページにある例文の左に付記されています。

※ 下表「金のパッケージのパートと問題番号」について…『金のパッケージ』は予習不要です。授業中に一緒に解き、講師の解説を聞きながら理解を深めます。この入門コースでは、TOEIC の問題の中でも比較的にアプローチしやすい Part 1, 2, 3（リスニング）と、Part 5, 6 と Part 7 のシングルパッセージをカバーします。『金のパッケージ』は例題・実戦問題と巻末の 1 回分の TOEIC 模試から成っていますが、授業の大半は例題・実戦問題の演習と講師の解説に割き、対応する巻末の模試の問題は、その週の学習事項の定着を図るために使用します（解いて、答え合わせをして、授業が終了するという感じです）。授業の状況により、一部の問題は扱いきれないこともあるかと思いますが、その場合、宿題または次回の学習範囲となります。また、割愛する Part 4（本番の TOEIC では 71-100 番）や Part 7 の英文が多いところ（本番の TOEIC では 176-200 番）は自習教材としてお使いください。もし余裕がありましたら、授業前に、例題や実戦問題の前にある著者の解説に軽く目を通しておくと、学習効果がより高まるかと思いますが。

授業週	金フレの範囲	金のパッケージの Part（大問）と例題・巻末の模試の問題番号等			模試問題集・講義のポイント
Week 1	Supplement 1	Part 1	例題 1-4 実戦問題 1-4	1-6（6 問・5 分弱）	・オリエンテーション ・TOEIC リスニングパート概観 ・ Part 1 の test-taking strategy
Week 2	1-200	Part 2	例題 1-10 実戦問題 1-10	7-31（25 問・10 分弱）	・ Part 2 の test-taking strategy
Week 3	201-300	Part 3	例題 1-4（4 セット） 実戦問題 1-12（4 セット）	32-70（39 問・20 分弱）	・ Part 3 の test-taking strategy ・ リスニングセッションまとめ ※ Part 4 は割愛（自習）
Week 4	Supplement 3	Part 5	例題・実戦問題全て（約 30 問）	101-130（30 問、20 分目標）	・ TOEIC テストリーディングセッション概観 ・ Part 5 の test-taking strategy ※ 時間があれば Part 4 の模試問題を授業冒頭で解きます
Week 5	301-400	Part 6	例題 3 セット	131-146（16 問、16 分目標）	・ Part 6 の test-taking strategy
Week 6	401-500	Part 7 (1)	例題 1-3 実戦問題 1-9	147-160（14 問、14 分目標）	・ Part 7 の test-taking strategy（シングルパッセージ前半について）
Week 7	501-600	Part 7 (2)	例題 4	161-175（11 問、20 分目標）	・ Part 7 の test-taking strategy（シングルパッセージ後半について） ※ マルチプルパッセージは割愛

以上です。よろしくお願いいたします。

中央大学国際センター主催 2025 年度 秋学期 TOEIC 講座 **文法強化コース（水 6・リアルタイムオンライン開講・底力をつける語彙・文法・読解コース）** シラバス

※ 注意して作成しておりますが、**ご不明の点・誤植と思われる部分などございましたら、国際センター または 当講座シラバス係 熊谷（kjiyunko001c★g.chuo-u.ac.jp ※左記★を@に変えてください）** までご連絡なくお尋ねください。

● コースの説明

コースの概要・学習量・目的 (春・秋レポート開講となります)	全 7 回で、文法を重視しつつ、TOEIC 頻出の語彙や長文読解のポイントも学習するちょっと欲張りなコースです。このコースの特色は、TOEIC テストのいわゆる「テクニック」だけではなく、総合的にリーディングセクションのスコアアップにつながる学習ポイントを学べるという点です。TOEIC 受験経験がない方、あるが少ない方、割とあるがスコアが停滞している方、リーディングでいつも足を引っ張られている方、億劫でなかなか語彙や文法に手が付けられないでいるといったお悩みがある方など、幅広い層の受験者が抱えるリーディングの弱点にアプローチするコースです。オンラインではありますが、皆で集まって、TOEIC 対策を一步先に進めてみませんか？ ※ 当講座では、オンラインの IP ではなく、紙の TOEIC テストを念頭において学習します。紙の TOEIC 対策ができていれば、オンラインの TOEIC にも対応可能であるのがその理由です。
コースの目標	① TOEIC テストの語彙・文法の試験範囲を知る ② TOEIC テストリーディングセクション Part 5 と 7 (Part 6 は扱いません) の問題形式とスコアアップのコツを知る ③ 講座終了後も継続的に学習を続け、目標を達成するための学習法を知る
コースの目標スコア (目安)	600 点
使用テキスト (3 冊、約 4,000 円) 	★ この講座のテキストは全て電子書籍・アプリ等でも購入できます。どちらを購入するかは受講者のみなさんにお任せしますが、講座としては紙の書籍の購入をお勧めします。また、講師は紙のテキストを参照して授業を進めますので、ご了承ください。 ① (単語帳) TEX 加藤『TOEIC L & R TEST 出る単特急 金のフレーズ』 (朝日新聞出版、979 円) ※ 『金フレ』と呼ばれることが多いです。同著者の別の著作『金のセンテンス』、『金の 1000 問』等と間違えないようにお買い求めください。 https://publications.asahi.com/ecs/detail/?item_id=18732 ② (問題集) TEX 加藤『TOEIC L&R TEST 出る問特急 金の文法』 (朝日新聞出版、979 円) ※ 同著者の別の著作『金のセンテンス』、『金の熟語』等と間違えないようにお買い求めください。 https://publications.asahi.com/ecs/detail/?item_id=23405 ③ (問題集) 八島晶『八島式 TOEIC テストの英語が読めるようになる本』 (旺文社、1,980 円) ※ 姉妹編、『聞こえるようになる本』があります。お買い求めの際はご注意ください。このシラバスや授業では、③ のテキストを『八島式』と呼ぶことが多いです。テキストには、「対象 730 点以上」とありますが、この数値についてはあまり心配しないでください。 https://www.obunsha.co.jp/product/detail/094998 ※ お手数ですが、初回授業日までに必ずテキストをご用意ください。中央大学生協書籍売場の TOEIC コーナーに例年開講前後に採用テキストの取り扱いをさせていただいており、割引価格で購入できます。取り寄せも可能かと思います。また、一般書店・ネット書店でも購入できますが、市中書店の場合は常に大量に在庫している書籍ではありませんので、お早めのご準備をお願いします。
1 回の授業の流れ	オンラインで集合し、次項に示したスケジュールに沿って、単語帳と問題集 2 冊、合計 3 冊の学習を行います。講師と一緒に勉強会のような授業だとお考えいただくとイメージしやすいかと思います。当日扱う問題の難易度、受講生のみなさんの理解度等により、担当講師の判断で扱いきれなかった問題は次回の授業に回したり、宿題となることがあります。ご了承ください。
予習・復習	□ 予習…次頁の案内に従って、単語テストの準備をしておいてください。問題集の予習は不要です。復習に力を入れましょう。 ■ 復習…講義内容の確認、音読、問題集の解き直しなどをお勧めします。
注意事項	① 遠隔開催となります。次の 2 点についてご了承ください。1) 講義は会議ツールの Zoom Workplace または Webex を使用した同時双方向型授業となります。大変申し訳ありませんが、録画・見逃し配信・教室での対面開講の予定はありません。2) カメラやマイクの on/off は学生のみなさんご希望、プライバシーを尊重しつつ各講師が判断します。担当講師の指示に従ってご参加ください。 ② テキストのコピー、PDF の配布等の準備はありません。お手数ですが、テキストをお早めにご準備ください。 ③ 遅くとも授業開始前日 23:59 までに、manaba のコースニュースより、会議ツールのミーティング URL、初日の集合の方法を担当講師より皆さんにご案内します。manaba へのアクセスをお願いいたします。また、通知の受信をおすすめいたします。 ④ 600 点を意識して授業を進めますが、目標スコアはあくまでも目安であり、大切なのは参加者のみなさんの意欲です。

● 講座のスケジュール…こちらに示した単語帳・問題集の進捗は大まかなデザインです。授業の状況に応じて適宜講師が変更を加えますので、講師の指示に従ってください。

※ 下表「金フレの範囲」と単語テストについて…単語帳、『金のフレーズ』（略して『金フレ』）は要予習です。下表の「金フレの範囲」に従って、単語テストの準備をしておいてください。

- ① 授業開始時に『金のフレーズ』を使用して、manaba 上の「小テスト」より、単語テストを行います。問題は1範囲につき10～15問、原則として選択式です。
- ② 続いて、テスト範囲の説明をします。単語帳『金のフレーズ』には、本編としてTOEIC 頻出語 1000 語（1-1000 番）、その補足として付録が5部（Supplement 1-5）収録されています。この文法強化コースでは、本編の1番～800番と、Supplement 3と4をテストします。つまり、下表「金フレの範囲」にある数字は、単語番号とSupplementの番号に言及したものです。例えば「1-200」とあるものは、1番から200番が、「Supplement 3」とあるものはSupplement 3がテスト範囲であることを示します。単語帳の目次を併せてご覧いただくと収録ページや構成がおわかりいただけると思います。単語番号は、単語帳を見開きにした時の左ページにある例文の左に付記されています。Supplementに関して、割愛（1と2と5）している部分と、テスト範囲が多少前後する部分（Supplement 3と4）がありますので、お気を付けください。

※ 下表「金の文法の範囲」について

『金の文法』は予習不要です。章により収録問題数が異なり、全てを授業中に扱えない場合があります。「テスト慣れ」を目的として、解くだけになったり、宿題にする問題があります。おおよその目安として、実戦問題、あるいは単元の半数ほどがその対象となる可能性があります。ご容赦いただけましたら幸いです。

※ 下表「『八鳥式』の範囲と概略」について

問題集『八鳥式…』は予習不要です。授業中に計時して解き、講師の解説を聞きながら理解を深めます。予習不要ですが、全てを授業時間中に扱いきれなかった場合、講師の判断により、「テスト慣れ」を目的として、解くだけになったり、宿題または次回の学習範囲となります。割愛する問題はシラバスに一部示しましたが、その他に、おおよその目安として、授業では例題を扱い、各Lessonの後半の練習問題が復習教材として解くだけ、あるいは宿題の対象となりやすいとお考えください。ご容赦いただけましたら幸いです。

授業週	金フレの範囲	金の文法の範囲	『八鳥式』の範囲とその範囲で学習することの概略		備考
Week 1	1-200	1章 品詞問題 (必修問題 30問)	Lesson 1	誤読しやすい第4文型 SVO ₁ O ₂	TOEIC リーディングパート概観 Part 5のコツ
Week 2	Supplement 4	1章 品詞問題 (実戦問題 30問)	Lesson 2 Lesson 3	品詞に注意、英語の名詞はよく動詞に化ける 多義語に注意	Part 7 シングルパッセージのコツ
Week 3	201-400	2章 動詞問題 (必修・実戦問題 24問)	Lesson 4 Lesson 5	時制でうっかり、を避けるために 関係代名詞の読み方	※ Lesson 6 は自習課題とします
Week 4	Supplement 3	3章 前置詞 or 接続詞 (必修・実戦問題 24問)	Lesson 7 Lesson 8	日本語の母語話者は代名詞が苦手かもしれない ちょっと一休み・正解マーカーとは (1)	
Week 5	401-600	4章 代名詞 5章 前置詞 (必修・実戦問題 15問)	Lesson 9 Lesson 10	ちょっと一休み・正解マーカーとは (2) 接続副詞にご注意	
Week 6	601-700	6章 関係詞 (必修・実戦問題 18問)	Lesson 11 Lesson 13	マルチプルパッセージのヒント・解答根拠の現れ方 対比と列挙は単語／文法的にどう違うか・文書間の関連性	Part 7 マルチプルパッセージのコツ ※ Lesson 12 は自習課題とします
Week 7	701-800	7章 その他 (必修・実戦問題 15問)	Lesson 15	あれこれ属性がある情報をどう読むか	※ Lesson 14 は自習課題とします

以上です。どうぞよろしくお願いいたします。

中央大学国際センター主催 2025 年度 秋学期 TOEIC 講座 **模試演習コース（火 6・リアルタイムオンライン開講・730 点をめざす実戦中上級コース）** シラバス

※ 注意して作成しておりますが、ご不明の点・誤植と思われる部分などございましたら、国際センター または 当講座シラバス係 熊谷 (kjiyunko001c★g.chuo-u.ac.jp ※左記★を@に変えてください) までご連絡なくお尋ねください。

● コースの説明（春・秋学期にリピータ開講をしておりますが、春学期は模試問題集の Test1、秋学期は模試問題集の Test2 を扱います。また、春学期の受講を秋学期受講の前提としてはおりませんので、春学期と秋学期に連続してご受講いただけます。）

コースの概要・学習量・目的	全 7 回の講座で、 TOEIC テストを概観し、本番よりやや難しい模試問題集の半分（TOEIC1 回分、200 問）を学習 します。受講者一人一人が自身の弱点を発見し、今後の学習のヒントを得られるような中級～上級講座を目指します。模試本は持っているけれども、精ん読になっている、あるいは模試本に進む勇気が出ない・敷居が高いなどと感じている方、オンラインではありますが、皆で集まる強制力を利用して実戦形式で TOEIC の問題に取り組んでみませんか？ ※ 当講座では、 オンラインの IP ではなく、紙の TOEIC テストを念頭において学習 します。紙の TOEIC 対策ができていれば、オンラインの TOEIC にも対応可能であるのがその理由です。
コースの目標	① TOEIC テスト全般について、本番で慌てないために幅広い知識を得る ② 開講中、開講直後に目標スコアを達成する、または講座終了後も学習を続け、目標を達成するための学習法を知る
コースの目標スコア（目安）	730 点
使用テキスト（1 冊、約 2,000 円）	 （模試問題集）加藤優他著『TOEIC® L&R テスト精選模試【総合】』（ジャパンタイムズ出版、1,980 円） ※ この講座では、実際の TOEIC の問題 2 回分（Test 1, 2）が入ったオレンジ色の表紙の精選模試を使います（精選模試はシリーズものの問題集です。左の書影と URL をご覧の上、お買い間違えのないようお願いいたします）。この講座では、 春学期に Test 1 を、秋学期は続きの Test 2 を扱います。 https://bookclub.japantimes.co.jp/book/b590294.html ※ お手数をおかけしますが、 初回授業日までに必ずテキストをご用意ください 。中央大学生協書籍売場の TOEIC コーナーに例年開講が近くなるとテキストの取り扱いをさせていただいており、割引価格で購入できます。取り寄せも可能かと思えます。また、一般書店・ネット書店でも購入できますが、市中書店の場合は常に大量に在庫している書籍ではありませんので、お早めのご準備をお願いします。 ※ 当講座のテキストに電子書籍版がある場合、どちらを購入するかは受講者のみなさんにお任せしますが、講座としては紙の書籍の購入をお勧めします。また、講師は紙のテキストを参照して授業を進めますので、ご了承ください。
1 回の授業の流れ	オンラインで集合し、次頁に示したスケジュールに沿って、模試問題集の学習（予習不要です）を進めます。講師と一緒に勉強会のような授業だとお考えいただくとイメージしやすいかと思えます。 1 回の授業で大体大問（TOEIC では Part と呼びます）1 つを終えることを目指しますが、当日扱うパート・問題の難易度、受講生のみなさんの理解度等により、担当講師の判断で扱いきれなかった問題は次回の授業に回す、宿題にするなどの変更を加える場合があります。
予習・復習	☐ 予習…不要。復習に力を入れましょう。 ☒ 復習…講義内容の確認、音読、問題集の解き直しなどをお勧めします。一般に、模擬試験は 3 回法といって、3 回解くと学習効果がより高まると言われています。
注意事項・ 担当講師からのお願い	① 会議ツール Zoom Workplace または Webex を使用した同時双方向型授業（オンライン授業） となります。大変申し訳ありませんが、 録画・見逃し配信・教室での同時対面式開講の予定はありません 。また、 以下 2 点は、担当講師よりお願い です。 1) オンラインで集合する際、本名を日本語で表示 するようにして下さい。講座に登録していない人物の不正入室を防止するためです。ご協力をお願いいたします。 2) カメラやマイクの on/off については、基本的にはカメラ off で受講していただきます。ただし、以下①と②の場合にはカメラを on にするようお願いいたします。 ① ブレイクアウトルームでペアワークを行う場合。（初回に 5 分程度、顔合わせのペアワークを行います。その他にもごくわずかですがペアワークの機会をとることがあるかもしれません。） ② 15 分以上続けてリーディングパートの問題を解く場合。 緊張感と授業に参加している意識を保つため、カメラ on で作業していただきます。ただしこの場合は皆さんの顔ではなく、問題を解いている手元を映すことをお勧めします。 ② テキストのコピー、PDF の配布等の準備はありません。 お手数ですが、テキストをお早めにご準備ください。 ③ 遅くとも授業開始前日 23:59 までに、manaba のコースニュースより、会議ツールのミーティング URL、初日の集合の方法を担当講師より皆さんにご案内します。 manaba へのアクセスをお願いいたします。また、通知の受信をおすすめいたします。 ④ 730 点を意識して授業を進めますが、目標スコアはあくまで目安です。大切なのは参加者のみなさんの意欲です。

● **講座のスケジュール** … こちらに示した模試問題集の進度は大まかなデザインです。授業の状況に応じて適宜講師が変更を加える場合がありますので、講師の指示に従ってください。

※ 下表「模試問題集のパートと問題番号」について…模試問題集は予習不要です。授業中に一緒に解き、講師の解説を聞きながら理解を深めます。授業の状況により、扱いきれないこともあるかと思います。その場合、宿題または次回の学習範囲となります。また、このコースではTest 2のみを扱います（Test 1は春学期講座の教材として学習しました）。

授業週	模試問題集（Test 2）のパートと問題番号		模試問題集・講義のポイント
Week 1	Part 1 & 2	1-6 7-31	・オリエンテーション ・TOEIC テストリスニングセクション概観 ・ Part 1 と Part 2 のスコアアップのコツ（このコツのことを、test-taking strategy と言います）
Week 2	Part 3	32-70	・ Part 3 の test-taking strategy
Week 3	Part 4	71-100	・ Part 4 の test-taking strategy ・ リスニングセクションまとめ
Week 4	Part 5	101-130	・ TOEIC テストリーディングセクション概観 ・ Part 5 の test-taking strategy
Week 5	Part 6 Part 7 (1)	131-146 147-157	・ Part 6 の test-taking strategy ・ Part 7 の test-taking strategy（シングルパッセージ前半について）
Week 6	Part 7 (2)	158-175	・ Part 7 の test-taking strategy（シングルパッセージ後半について）
Week 7	Part 7 (3)	176-200	・ Part 7 の test-taking strategy（マルチプルパッセージについて） ・ 「模試問題集 3 回法」という学習法、単語対策について

●（参考）講座後に…① 模試問題集の活用法 と ② 単語対策について

① 授業では問題集を1回しか解くことができませんが、良質の模試は3回繰り返して解くとよい（「3回法」と呼ばれています）と言われています。「模試本は採点してからが勝負」と考えて丁寧に何度も解いてみてください。反復練習の方法は色々ありますが、一例として次のような使い方を提案します（講座中に担当講師からも他の使用法などお知らせします）：

- 1 回目…講座で講師と一緒に解き、わからないところが1つもないようにする
- 2 回目…少し記憶が薄れた頃、時間無制限で満点を目指して解く（さらなる復習効果を狙う）
- 3 回目…さらに記憶が薄れた頃、本番と同じように解く（英語が出来る人、自分より高得点の人、出来るようになった自分、のシミュレーションを意識）



② 日頃語彙を問題に感じている、あるいは講座をきっかけとして、単語対策が必要だと思われた方には、TEX 加藤著、『TOEIC L&R TEST 出る単特急 金のフレーズ』を強くお勧めします。TOEIC 対策の単語帳はたくさんあり、ご自身が気に入って、いつでも持ち歩けるものをやるのが一番ではあるのですが、TOEIC の単語帳で、公式のものを越えて、幅広いスコア帯の方にお薦めできる、命中率が高く、試験中の危機一髪を救ってくれる単語帳はこれしかありません。国際センターの TOEIC 講座でも、単語学習を含むコースにはこの『金フレ』を採用して学習しています。

以上です。どうぞよろしくお願いします。

- コースの説明（春・秋学期にリピーター開講をしておりますが、春学期は模試問題集の Test 1 と 2、秋学期は Test 4 と 5 を扱います。また、春学期の受講を秋学期受講の前提としてはおりませんので、春学期と秋学期に連続してご受講いただけます。）

コースの概要・学習量・目的	上級者向けの TOEIC リーディング対策クラスです。全 7 回の講座で、本番と同レベル～やや難しいリーディングセクションの問題を多めに TOEIC 2 回分程度（200 問前後）学習します。多くの受験者にとって、リーディングセクションはいわゆるスコアアップのためのコツ（Test-taking strategy）を知るだけでは目標達成が難しいセクションです。このコースは、他コースよりも、いわゆる「TOEIC のコツ」が通用しにくいリーディングセクションの難問にフォーカスしながら、英語そのものをよく見て丁寧に学習することで、近い将来、受講者のみなさんが超大学生級のハイスコアを達成する一助となることを目指しています。 ※ 当講座では、オンラインの IP ではなく、紙の TOEIC テストを念頭において学習します。紙の TOEIC 対策ができていれば、オンラインの TOEIC にも対応可能であるのがその理由です。
コースの目標	① TOEIC リーディングセクション全般について幅広くレベルの高い知識を得る ② 高い正答率達成のための自己分析を試みたり、英語の読み方を知る ③ 講座終了後も継続的に学習を続け、目標を達成するための学習法を考える ④ 上記①～③によって、近い将来リーディングセクションで 100 問中 80 問程度（かそれ以上）の正答率を得られるようになる
コースの目標スコア（目安）	860 点～
使用テキスト（1 冊、約 2,000 円）	YBM TOEIC 研究所『TOEIC テスト YBM 超実戦模試リーディング 500 問 Vol. 2』（朝日出版社、2,200 円＋税） https://www.asahipress.com/bookdetail_lang/9784255013541/ ※ Vol.1 とお間違えのないようにお願いいたします。 ※ お手数をおかけしますが、初回授業日までに必ずテキストをご用意ください。 中央大学生協書籍売場の TOEIC コーナーに例年開講が近くなるとテキストの取り扱いをしていただいております。割引価格で購入できます。取り寄せも可能であると思います。また、一般書店・ネット書店でも購入できますが、市中書店の場合は常に大量に在庫している書籍ではありませんので、お早めのご準備をお願いします。 ※ 当講座のテキストに電子書籍版がある場合、どちらを購入するかは受講者のみなさんにお任せしますが、講座としては紙の書籍の購入をお勧めします。また、講師は紙のテキストを参照して授業を進めますので、ご了承ください。
1 回の授業の流れ	オンラインで集合し、毎時間本番と同形式の問題を解いて即採点・復習を行います。講師と一緒の勉強会のような授業だと思えばいいと思います。従って予習は原則として不要です。授業当日扱うパートについては、次頁の予定表もご参照ください。問題の難易度、受講生のみなさんの理解度やリクエスト等により、問題の一部を翌週に回す、宿題にする、予習をお願いするなどの変更を加える場合があります。
予習・復習	□ 予習…原則として不要。復習に力を入れましょう。講師の指示があった場合はその指示に従って予習・宿題を行ってください。 ■ 復習…講義内容の確認、音読、問題集の解き直しなどをお勧めします。
注意事項	① 遠隔開催となります。次の 2 点についてご了承ください。1) 講義は会議ツールの Zoom Workplace または Webex を使用した同時双方向型授業となります。大変申し訳ありませんが、録画・見逃し配信・教室での対面受講の予定はありません。2) カメラやマイクの on/off は学生のみなさんのご希望、プライバシーを尊重しつつ各講師が判断します。担当講師の指示に従ってご参加ください。 ② テキストのコピー、PDF の配布等の準備はありません。お手数ですが、テキストをお早めにご準備ください。 ③ 遅くとも授業開始前日 23:59 までに、manaba のコースニュースより、Zoom または Webex のミーティング URL、初日の集合の方法を担当講師より皆さんにご案内します。manaba へのアクセスをお願いいたします。また、通知の受信をおすすめいたします。 ④ 上記の目標スコアはあくまで目安です。860 点以上を目指して授業を進めますが、大切なのは参加者のみなさんの意欲です。

● 講座のスケジュール…こちらに示した問題集の進捗は大まかなデザインです。**授業の状況に応じて適宜講師が変更を加えます**ので、講師の指示に従ってください。また、manaba にマークシートなど必要な資料をアップロードすることがあります。ご必要に応じて、あるいは講師の指示に従って、無理のない範囲でプリントアウト・閲覧しながら学習してください。

授業週	問題集の Test 番号とパート番号		授業の内容
Week 1	Test 4	Part 5 & 6	Part 5 と 6 の概要、スコアアップのためのコツと問題演習
Week 2	Test 4	Part 7 (シングルパッセージ)	Part 7 シングルパッセージの概要、スコアアップのためのコツと問題演習
Week 3	Test 4	Part 7 (マルチプルパッセージ)	Part 7 マルチプルパッセージの概要、スコアアップのためのコツと問題演習
Week 4	Test 5	Part 5 & 6	問題演習と解説
Week 5	Test 5	Part 7 (シングルパッセージ)	問題演習と解説
Week 6	Test 5	Part 7 (マルチプルパッセージ)	問題演習と解説
Week 7	予備日	担当講師の指示に従ってください。進捗に遅れがある場合はそれを取り戻す、Test 3 の通し練習、受講者のみなさんのリクエストによる講義など、担当講師がその他ふさわしい内容を提供します。	

● (参考) 講座後に…① 模試問題集の活用法 と ② 単語対策について

① 授業では問題集を 1 回しか解くことができませんが、良質の模試は 3 回繰り返し解くとよい(「3 回法」などと呼ばれています)と言われています。「模試本は採点してから勝負」と考えて丁寧に何度か解いてみてください。反復練習の方法は色々ありますが、一例として次のような使い方を提案します：

- 1 回目…講座で講師と一緒に解き、復習してわからないところが 1 つもないようにする
- 2 回目…少し記憶が薄れた頃、時間無制限で満点を目指して解く(さらなる復習効果を狙う)
- 3 回目…さらに記憶が薄れた頃、本番と同じように解く(英語が出来る人、自分より高得点の人、出来るようになった自分、のシミュレーションを意識)



② 日頃語彙を問題に感じている、あるいは講座をきっかけとして、単語対策が必要だと思われた方には、TEX 加藤著、『TOEIC L & R TEST 出る単特急 金のフレーズ』を強くお勧めします。TOEIC 対策の単語帳はたくさんあり、ご自身が気に入って、いつでも持ち歩けるものをやるのが一番ではあるのですが、TOEIC の単語帳で、公式のものを越えて、幅広いスコア帯の方にお薦めできる、命中率が高く、試験中の危機一髪を救ってくれる単語帳はこれしかありません。国際センターの TOEIC 講座でも、単語学習を含むコースにはこの『金フレ』を採用して学習しています。

以上です。どうぞよろしくお願いいたします。